

潤いの森 3月

マルバスミレ

スミレ科多年草 花期：3-4月



円形の葉をもつアオイスミレとよく似ていますが、マルバスミレの葉は先が少しハートに近い形をしています。



スミレの種の運び屋



スミレの種には、エライオソームと呼ばれる独特の器官がついていて、このエライオソームの匂いにつられ、アリが種を運び巣の中へ持ち込みます。そうしてスミレの種は四方八方で発芽するとされています。



タンポポ

キク科多年草

カントウタンポポ



潤いの森では、GHゾーンのタンポポのほとんどがカントウタンポポになりますが、南（ABゾーン）に向かうにつれ、セイヨウタンポポが増えていきます。ガクが下がっているのがセイヨウタンポポです。セイヨウタンポポは秋も開花しますが、カントウタンポポは春のみの開花です。

セイヨウタンポポ



カノコガ

チョウ目ヒトリガ科

タンポポを食草としているカノコガです。潤いの森でもよく見かけるガです。



テングチョウ

チョウ目タテハチョウ科 観察時期：3-6、9-11月



成虫で越冬するため、早くから飛び回る姿を見ることができます。顔の先が天狗の様に尖っていることからついた名です。裏翅は枯葉に似せていて、葉脈まで表現されています。



幼虫

幼虫時の食草はエノキの葉です



ミヤマセセリ

チョウ目セセリチョウ科
観察時期：3-4月

千葉県 重要保護生物(B)



春先にしか成虫の姿を見ることができないチョウです。幼虫の食草は、クヌギやコナラです。地上近くを飛びまわるので、ぜひ見つけてみてください。



写真引用：「昆虫イブ ローラー」

ホソヒラタアブ

ハエ目ハナアブ科
観察時期：3-11月



幼虫写真引用：「虫ナビ」

成虫で越冬するため、2月でも暖かい日は見ることができます。幼虫はアブラムシを食べる益虫で肉食ですが、成虫になると、花の蜜や花粉を食事とします。